

ここから
はじまる
天_{あまくさ}葎



地域で見つけた
カッコいい大人たち

2023
SPRING



皆さんは地域のカッコいい大人達を知っていますか。

ここでいうカッコいい大人とは、容姿のことではなく、散見される地域課題に対して自社の強みを生かしながら解決に向けてチャレンジしている、地域で活躍する大人のことを指します。

天草市では、全国平均を上回るスピードで人口減少が進んでいます。

この人口減少が起因となり、少子高齢化や空き家の増加、生活支援サービスの低下をはじめ多くの地域課題を引き起こしています。

そんな状況を打破すべく、地域課題をチャンスと捉え、ビジネス手法で解決する人材の育成と本業を活かしてできるプロジェクトの創出を目指す「あまくさ未来創造スクール*」を2021年に創設しました。

今回、そんなあまくさ未来創造スクール第1期を修了したカッコいい大人たちを高校生記者11名が取材してきました。

この冊子を手にとっていただいたあなたに、「天草に帰りたい」と思ってもらえたら、また今後、天草に関わるきっかけを持ってもらえれば幸いです。



* 詳しく知りたい方は



ここから
はじまる
天草あまくさ

地域で見つけた
カッコいい大人たち

2023
SPRING



CONTENTS

01

天草大王で
地域に笑顔を！

船田 幸平さん
株式会社 船田工務店

02

天草の日常から育む
地域への愛

三山 剛さん
天草ケーブルネットワーク株式会社

03

ホルモン屋の女性店主が
地域の子育て支援に
奔走する理由

金子 幸生さん
ホルモン酒場 びとん

04

カエルから始まる
環境保全

富崎 凜さん
Amakusa KAERU Lab

05

車海老でつなぐ
みんなの幸せ

山崎 優美子さん
有限会社 幸福堂

06

建設業界を救う
職人育成計画

原田 良さん
有限会社 原田工務店

07

人と会るのが私の仕事

原田 麻美さん
サンエコライフ 天草店

08

子供達の元気な笑顔を

明瀬 僚之介さん
株式会社 ミヨセ

09

海と暮らす
～守る・繋ぐ～

松浦 亜季子さん
株式会社 天草海鮮蔵

10

天草に働き口を

野口 太志さん
インテリアプラザ・ノグチ

11

老舗パン屋の3代目が創る
牛深町の新しい未来

右山 秀幸さん
吉永製パン所

/ 天草ユメターン
支援情報

/ あとがき

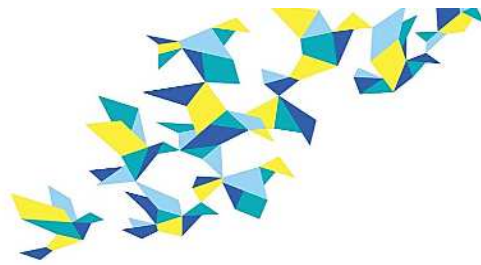
天草大王で地域に笑顔を！

船田 幸平さん (株) 船田工務店

社名に「工務店」とついているのに、熊本が全国に誇るブランド地鶏「天草大王」の飼育・販売を手掛けている船田幸平さん。

弾けるような笑顔が素敵な方で、天草大王への熱量もすごいんです。あまくさ未来創造スクールへの参加でその熱量に拍車がかかったとか。

今回はそんな船田工務店の代表・船田さんに、お仕事のこと、地域活動のこと、天草の若者のこといろいろ聞いてみました。



なぜ「船田工務店」という名で、天草大王の飼育、販売をされているのでしょうか？

私の父が以前工務店をしていて、今でも船田工務店という名前を使用して天草大王の生産をしています。農園の名前は別にあって「日の出農園」と言います。

仕事内容について詳しくお聞かせください。

天草大王の飼育、販売をしています。養鶏は、生まれて2日目の雛を農場に連れてくることから始まります。一日の作業サイクルは、飲食店や個人の方から注文が入った鶏を捌き所に運ぶことから始まり、毎朝6時30分に農場に出て、8時までにはその日注文分の鶏を処理場に持っていきます。その後給餌や水飲み場の清掃を行います。鶏の飼育する場所は変わって行くので、飼育場所の清掃や消毒が大切です。他には販売先の確保をするための営業活動もしています。

仕事をしていて嬉しいと感じる瞬間、またモチベーションになること、大切にしていることなど教えてください。

私が嬉しかった瞬間は、取引先に行ったときに自分たちが育てた鶏を「うまい」と言って食べているお客様の姿を見たときです。私達は、育てて捌かれた鶏は食べずに取引先に送るので味が分からないのですが、育てた鶏を卸した店に伺い、食べているお客様の声を聴き、今回の鶏は美味しいか否か、私達がしてきたことの答え合わ

せができたときは良くも悪くも嬉しく感じます。一番大切にしているものはスタッフの人です。この仕事はあまりきれいな仕事ではないので、いかにスタッフのモチベーションを保ち、いい鶏を育て、喜んでもらえるかを大切にしています。いい鶏を育てたいので、他の鶏より大きく、美味しく仕上げられるか日々考えています。



どうしてあまくさ未来創造スクールに参加しようと思われたのですか？

誘われたことがきっかけでしたが、誘われたときに言われた「天草のエリートで今から勢いのある人たちの集まり」という言葉に惹かれて参加しようと思いました。他にもモチベーションの高い方も出会いたかったし、何をやるにしても「人」が大切に、志の同じような人と集まることができたら、何か大きなことができると思ったので、自分の人脈づくりという意味で参加しました。

あまくさ未来創造スクールを受講したことで何か意識の変化はありましたか？

もっと天草の食材が好きになりました。最初は天草の食材にこだわりはありませんでしたが、参加したことで天草での生活を通して、食材の一つ後ろにいる「人」を大切にしたいと思うように

なりました。この人だから買いたいという「生産者や人との繋がり」の面も気にするようになり、天草の食材を使いたいと思うようになりました。

スクールを終了して自身が考えたプロジェクトについて教えてください。

学びを生かして、天草食材コミュニティというプロジェクトを考えました。4年前に両親の仕事を引き継ぐという形で天草に戻ってきたときに、「せっかく天草には良い食材や商品があるのにうまくPRできていない」と感じたことを生かし、そういったものを集めて色んな人に知ってもらうことができる場所があればいいな、という思いで福岡に飲食店の「船と天草大王 天音」を開業しました。

天草の多くの若者は高校を卒業と同時に、この地域を離れます。こんな若者に今、伝えたいことはありますか？

今しかできないことを一生懸命やって欲しいです。面倒くさいこと、しんどいことの方が後々強く思い出に残ります。過去の辛いことが自分を後押ししてくれると思います。一度、天草を離れてもいつかリターンをしてくる若者もいると思います。若い人が帰ってきてくれることは嬉しいですが、個人的にはそこまで望んでいません。天草から出たとしても天草のためにできることは色々あると思います。むしろ、一度天草の外に出て広い世界を見てきてもらいたいです。

(株) 船田工務店 (日の出農場)

住所 熊本県天草市新和町
大多尾984-2
TEL 0969-46-3105



天草の日常から育む 地域への愛

三山 剛さん 天草ケーブルネットワーク（株）

メディア事業部テレビ制作課長

住民との繋がりを強みに天草各地の情報を集約し、ニュース、イベントなどを題材に地域の魅力を伝え、天草を好きになってもらう情報を発信されている三山さんに、情報集めから撮影、製作と普段知ることができないテレビの裏側をお尋ねしました。



どのような仕事内容ですか？

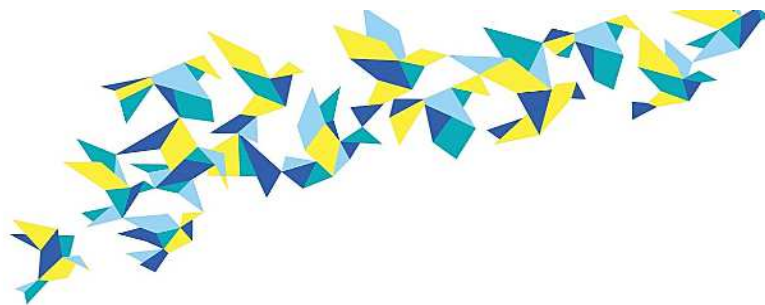
地域の情報、災害情報などを集め皆さんに伝えるのが仕事です。例えば「卒業シーズン」や「各地域で開催するイベント」の撮影に伺い、撮影した映像を編集して自社のコミュニティチャンネルで放送しています。天草ケーブルに加入すると地上波チャンネル10番と11番で視聴できるようになり、10番は主に天草市の情報をメインに、11番は上天草市の情報をメインで放送しています。

仕事で大切にしていることはありますか？

テレビ制作課で大切にしていることは地域の情報をたくさん集めて、地元の人たちに天草の情報を知ってもらうことです。情報を伝える中で、地元の方に天草の魅力を知ってもらうことを大切にしています。

どうやって地域の情報を集めているのですか？

会社の中に営業に特化した課があります。そ



の人達がケーブルエリアのお家に訪問した時に情報を教えてくださることや、外に出たときに地域の方々がケーブルテレビの車を見て声をかけてくださり、情報を教えてくれます。また、天草記者クラブというのがあり、報道資料が天草市役所に集まるのでそれを見たり、公式のLINEやメールで情報を集めたりしています。

働いて苦労したことは何ですか？

災害情報は生放送で発信することになります。命に関わることもあるのでスピードも重要ですが、正確性も担保しなければいけません。例えば、台風の時でも誰かが会社に来て放送できる状態にして、台風の進路や避難所の状況を発信しています。台風の場合は気象庁の情報などで進路を予測できますが、大雨の場合は予測がつかないので会社で長時間待機して情報を発信しないといけないという苦労があります。

他のテレビ制作会社と比べてケーブルテレビの強みは何ですか？

天草ケーブルネットワークは天草特化型のテレビ局になるため、天草のエリアでしか放送できませんが、地元の方から「今度、祭りがあるから撮影に来て」「庭に綺麗な花が咲いたから撮影に来て」など、民放では放送されないような内容でもニュースとして放送をしています。そうすることで天草のたくさんの方々と繋がりができ、天草地域の様々な情報が得られるようになっていくことが強みです。

あまくさ未来創造スクールへの参加のきっかけは何ですか？

人と接することが大切だと思っているので、多様な職種の方が集まると聞き、人と関わりながら地域のことをもっと勉強しようと思い受講しました。

提案したプロジェクトについて教えてください。

スクール受講生の会社を取材して企業紹介のように「天草でこんな人達がいて、地域の課題に取り組んでいるカッコいい大人の方々がいますよ」というのを発信して天草を知ってもらう、天草に帰って来てもらうことを考えました。その第一段階としてまず、天草にいる方々に天草の良さを知ってもらうことから始めようと思います。

天草の若者に一言お願いします。

まずは自分が好きなことをやって、天草を出ていろんなことを経験して天草の良さを発信しながら、いずれは天草に帰ってきてほしいと思います。

天草ケーブルネットワーク（株）

住所 | 熊本県天草市港町9-1
TEL | 0969-22-1311



ホルモン屋の女性店主が 地域の子育て支援に奔走する理由

金子 幸生さん ホルモン酒場 びとん

福岡での飲食店勤務の経験を活かして、
Uターン後「ホルモン酒場びとん」をオープンさせた金子さん。
そこでは食を通じて地域の子育て支援活動をされています。
なぜ、彼女はそんなことをしているのでしょうか？
その理由と目指している地域のあり方についてお聞きしました！

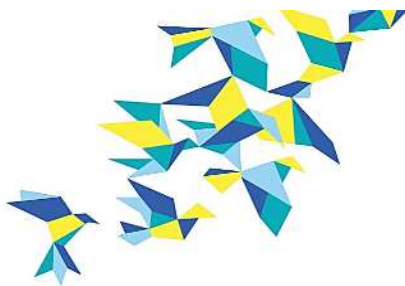


そもそも天草で博多風のもつ鍋／ホルモン屋は珍しいですが、どうしてこのようなお店を開こうと思ったのですか？

一度天草から出て、福岡の飲食店で働いた後、「天草に本場のもつ鍋（ホルモン）が食べられる場所が無いな」と思い、天草の皆様へ食べていただきたいという一心で2020年6月にお店を開きました。

おすすめ料理は何ですか？やはりもつ鍋でしょうか？

全てお勧めですが、特に食べていただきたいのは「もつから」です。本場のホルモンは、白くて臭みが無く、ほどよく脂がのっているのが特徴で、「びとん」では、脂の乗った若い牛の小腸を使っています。もつ鍋は、糸島にある老舗の叶醤油さんから仕入れた醤油を独自ブレンドして、長い時間をかけて出汁を作っています。また、野菜は無農薬で味や食感にこだわり、新鮮なものを使いたいという思いから、自家栽培のものや天草の地のものを厳選して使用しています。



金子さんは食を通じた子育て支援をされていると聞いています。活動内容について詳しくお聞かせください。

子育てを頑張るお母さんの力になれないかと考え、息抜きができ落ち着ける場所になればという思いで親子食堂を開催しています。この親子食堂を通じて、子育て世代の方から天草で子育てを行う問題や悩みを直接聞いて、それを解決することで天草を子育てしやすい町にしていければと考えています。

なぜそのようなことをすることになったのでしょうか？理由を教えてください。

取組みはじめたきっかけは、あまくさ未来創造スクールに参加して、天草の現状や地域課題、そして私達事業者には何が出来るのかを深く考えさせられたからです。そこで天草の地域課題に目を向け、子育てしている方々を支える方法が何か無いか考えたときに、私にできるのは料理で、冷凍食品などを使わずに、一から仕込みに時間をかけて作った料理でお母さんやお子さんを笑顔にできたら嬉しいなと思ったからです。結果的に、沢山の方々と出会えましたし、何かあったときに連絡してもらえる場所になったのがとても嬉しいです。ほかに、スクールを通じてできた繋がりから、女性経営者、後継者を中心に『アマゾーナ』という子育て支援コミュニティを立ち上げました。定期的集まって、天草の明るい将来のために意見を交わして地域課題の解決に向けて活動を行っています。

今後、地域に期待することはありますか？

期待をすることは無いです！期待をするというよりは、自分たちで行動しなきゃいけないから。一人でも多くの方が、「何とかしないと！」と声を上げて行動しないと変わらないし、みんなが帰ってこれる場所が無くなってしまおうと思います。

天草の若者に一言お願いします。

やっぱり天草に帰ってきてほしい！まずは、色々な場所で楽しいことや失敗すること、いろんな経験をしたいです。そうすると天草の良さが必ず分かってくると思います。私の恩師がいつも言っている京都の宮司さんの言葉ですが、天草は人間でいう「肝臓」の役割をしているそうです。人の心を浄化してくれるという意味で。私も、福岡から天草に帰ってきたとき、身軽になったというか、落ち着いたような感じがしました。天草には、まだ若い方々が気づいていない良さがきっとあります。これから若い方々が帰ってきたいと思えるようなわくわくする天草にしたいためにまずは私たちが頑張っていきます。

ホルモン酒場 びとん

住 所	熊本県天草市船之尾町4-8
T E L	090-5929-1318
営業時間	17:00～22:30 (L.O. 22:00)
定 休 日	日曜日



カエルから始まる 環境保全

富崎 凛さん Amakusa KAERU Lab

天草市新和町の竜洞山で山林を保全し、カエルの生態系を守る「Amakusa KAERU Lab」
竜洞山にある池は、なんと九州屈指の二ホンヒキガエルの産卵池なんだそうです！
子供の頃からカエルの保護活動に取り組む富崎さんにお話を聞いてみました！

「Amakusa KAERU Lab」とはどんな組織で何をされているのですか？

活動自体は僕が声をかけた時に手伝ってくださる方や友人と一緒に池周辺の整備活動を行っています。コロナ禍以前は地元の方も整備や観察会を行っていました。

なぜこの活動をやろうと思ったのですか？

池周辺の環境が荒れだしてから徐々にカエルの産卵数が減ってきたことがきっかけです。豊かな自然が目前で壊れていくのを無視できませんでした。

高校時代から現在の活動をイメージしていたのですか？

「カエルを守りたい」という思いはあったのですが、それを仕事にするのはとても難しかったです。だから日本の生き物を守る仕事に就きたいと思っていました。広い目で見るとそういった仕事もたくさん

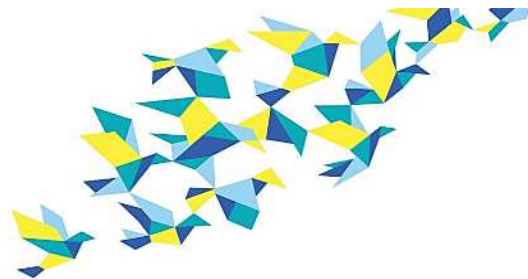
あるから、その仕事につくために環境のことが学べる大学に進学し、仕事探しをしていました。しかし考えてみると広く守ることに限界があることが分かりました。そのためピンポイントで守らざるを得なくなり、そういった形で活動するのならば天草に帰ってこなければなりません。結果、仕事にはなっていないけどカエルを助けることに従事しています。

なるほど。ちなみに、カエルに興味を持ったきっかけは何だったんですか？

20年以上前に父親に池に連れてきてもらい、おたまじゃくしと遊んだことが最初の体験でした。近所の愛犬感覚で毎年遊んでいて、身近にいる動物が大好きだったというのが原点です！

そうなんですね。富崎さんはカエルのどんなところが魅力だと思いますか？

他の生き物は陸と水辺に分かれているけど、カエルは両生類というだけあって両方で暮らしています。陸上はもちろん、水中の環境にも左右されます。僕たちが目を向けがちなのは目に見える所ですけど、見えているところ、見えていないところ両方を理解した上で寄り添ってあげないとカエルの住める環境にはなりません。見た目と違ってそういった繊細さを持っているところが生き物としての魅力ですね！



意外性があって面白いですね！活動をする上でどんなことを大切にしていますか？

一歩引いて見てみると生き物は全部繋がっています。蚊1匹にしてもバツタ1匹にしても欠けてしまうとそれに繋がっていたものが全部絶たれてしまいます。それを避けるためにバランスを保ちたいというのが大切にしていることですね！

活動を始めたとき周囲の反応はどうでしたか？

「変わってるね」と言われてました。でも、20~30年後にはこの環境が目目されると思っており、当たり前環境を保持していくためには目をそらしそうな部分に目を当てる事が大事だと思っています。というのも、近年絶滅する生き物の数は増加し、1年間で数万種が絶滅しています。しかもそれは益々加速していくという話もある中で、20~30年後にはどんな生き物が残っているかも分かりません。特に両生類は陸上と水辺の両方の影響を受ける生き物で特に絶滅危機の大きな生き物とされています。そういった意味で多様性の保たれた環境が人の手が入ることで保たれている環境というのは貴重になってくると予想しています。

あまくさ未来創造スクールへの参加理由は何ですか？

市役所の人に誘われたことですかね。その時は会社が忙しくて大丈夫かなと思ってたけど興味がありました。「何か変えない」という思いはあったので、現状を打破するための一歩を踏み出せたらと思って参加しました。

参加してみて一番変わったことは何ですか？

環境を保持していく上でどうしても資金は必要なんですよ。資金が入ってくる仕組みを自分で考えないといけないわけです。その上で、池を守るにあたって付随して発生している山の管理などの地域課題をできることから少しずつ解決していこうとしています。お金と人が入りながら保全していく仕組みをプロジェクトとして前進させています。

これからやっていきたいことは何ですか？

カエルの活動家でありつつ、生態系のバランスをとる上で「森」、「海」両方に目を向けたいといけなないので、双方に通じる活動をしていきたいです！



Amakusa KAERU Lab

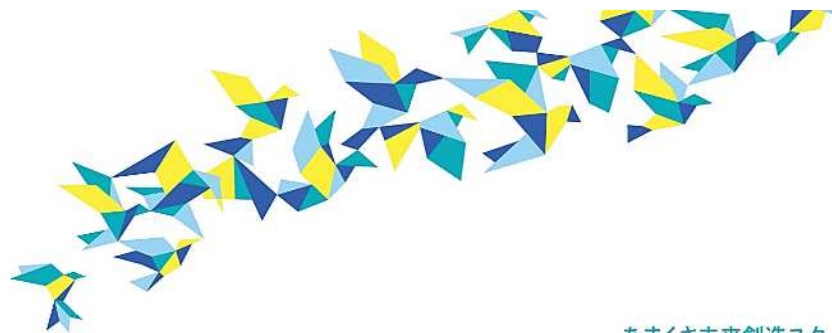


車海老でつなぐ みんなの幸せ

山崎 優美子さん (有) 幸福堂

車海老を通じて
みんなが幸せになって欲しい
という願いが込められた
会社名『幸福堂』。
父や母と共に細部にまで
こだわり抜いた養殖を行うことで、
美味しさの先にある甘みを感じることが
できる車海老を養殖する山崎さん。

夢を実現すべく
観光・経営について学ぶために
県外の大学を卒業し、
全国のホテルや旅館に勤務後
コンサルティング会社に転職。
出産を機に天草に帰省し、
家族で経営する幸福堂にて
販路開拓等に従事されています。



事業内容を教えてください。

天草の自然環境の中で車海老を育てています。ただ育てるだけでなく、研究を重ね試行錯誤し、独自の手法で美味しい海老を育てています。当社の車海老はとても美味しく、食べた人からは「幸福堂の海老じゃないと物足りない!」という声を頂くほどです。

この仕事を始めたきっかけは何ですか？

小さい頃から父や母の仕事姿を見ており、その姿に憧れていたからですかね。本当に美味しいものをつくらうと本質を追求する姿勢を尊敬しています。単純に自分がこの車海老を食べ続けたいというもあります(笑)

あまくさ未来想像スクールに参加した理由は何ですか？

市担当者からの紹介です。あと、天草市商工会からも紹介していただきました。1期生というのに惹かれましたし、収支計画まで落とし込めると言われたので、事業について考えをまとめるいい機会だと思いました。

また、なんでも挑戦したら面白そうと思ったからです。天草の若手として期待されてるかも?と思ったら頑張らないと!と思いました。

あまくさ未来創造スクールを受けてみて感じたことは何ですか？

天草の人が集まる中でそれぞれの会社について話し合ってみたのですが、東京の市場での幸福堂の評価は高くても、天草市内での知名度の低さを課題に感じました。なので、もっと自社の知名度を上げて、幸福堂の車海老とそれを育む天草の良さをもっと知ってもらわなければ!という思いが強くなりましたね。受講した時がコロナ禍ということもあり、車海老せんべいを開発したことで熊本のお土産として販売でき、天草の車海老がもっと広まるんじゃないかと課題にあげました。また、市内飲食店とコラボすることで井井フェアやおせち料理に車海老を使ってもらったりして、少しずつ頑張っています。

夢は何ですか？

養殖場の形を丸にすることで、水流をつくり海老を運動させるなどして、満足のいく美味しい車海老が作れるようになりました。なので、車海



老の養殖方法をベースにしてさらに美味しい魚類を養殖できないか模索しています。こうした水産物をはじめ天草には素晴らしい食材があり、将来的には『天草の食』というのをもっと広めるために宿泊施設を営業して、天草の食材を提供することで、沢山の人が知っていただく取組みができればいいと考えています。

天草の若者に一言お願いします。

外に出てみてわかるのですが、天草の食はとても素晴らしいので、一度外に出てみて天草の良さを感じてほしいと思います。その際に、自分が天草に戻るならどういったビジネスをするのか、生き方をするのか考えながらスキルアップをして、他の地域で育った同世代の子たちの感覚も学んで、最後には天草に帰ってきてほしいです。私としては、「天草って良いよね」という意識を持った人たちと働きたいし、天草の良いところを発信してくれる人がもっと増えたらいいなと思います。

(有) 幸福堂

住所 | 熊本県天草市河浦町宮野河内
3531-1
TEL | 0969-78-0186



建設業界を救う 職人育成計画

原田 良さん (有) 原田工務店

代表取締役

父が経営する工務店を事業継承し代表取締役へ。
人材不足な建設業界の人材を増やすために
市内高校と連携するなど、
職人(大工)に興味を持ってもらう取り組みを行っている
原田さんにインタビューしました。

どのような仕事をされていますか？

会社では建築工事をやっています。大工工事がメインですね。大規模な物件の大工工事だけでなく、衝立などの家具も要望があれば作ったりしています。木材を扱う仕事全般です。また、私が天草にUターンしてくる前に熊本市内の建設会社に務めていた経験から、鉄骨工事も行おうになりました。

現在の企業課題は何ですか？

やっぱり人材、後継者不足です。人が少ないとそもそも建設業が回らなくなってしまい、地域の建設業が疲弊していきます。若い人が会社に入らずずっと働いてほしいわけじゃなくて、経験を重ね、一通りこなせる技術が身についたら独立してもいいと思っています。そう思うと会社で働いて欲しいわけじゃなくて、建築業界で働く人材が多く必要です。



あまくさ未来創造スクールに入ったきっかけを教えてください。

市役所の方に誘われたからです。あと当社では「地域の人達と、どう関わって事業をしていくか」という課題も持っていて、このスクールに参加すれば他の業種の方々の考えを学べるかもしれないと思ったことと、単純に内容を聞いて面白そうだなと思ったからです。



スクールで提案したプロジェクトを教えてください。

大工の職人さんを増やすために、大工に興味のある人から職人(プロ)を増やしたり、プロの前(弟子)を増やしたりしていくことですね。対象を10代の子まで幅を広げて、大工に興味を持ってもらう環境を作れないかと考えています。実際に職人が使う道具に触れることができるちょっとプロっぽい場をつくってみて、興味を持ってくれた人がさらに大工に興味を持ってそれが職につながったら最高じゃないですか。

スクールやプロジェクトを通して変わったことはありますか？

地域課題に目を向けるようになったので色々な情報が入ってくるようになりました。また、スクールによって繋がった人からの相談が増えましたね。「その人に協力できたらいいな」や「仕事のことでなくても話そうかな」など、仕事に限らずプライベートでの交流も広がりました。そして、いろんな縁から大工職人である父が天草工業高校土木科の授業にも令和4年度から講師として参加する機会を頂きました。



どうして授業(実習)を始めようと思ったのですか？

興味があるとお話を頂き、市役所の担当者を通じて繋げていただきました。当初はどう教えていいのか、何を教えればいいのか分からなかったので手探り状態で、大工道具の鑿や鉋を研ぐところから始めました。最終的には柱と梁の接合を生徒の皆さんに実践していただきました。最近ではDIYなども流行っていて、大工道具も身近に触れる機会がある中で、実習やプロの道具に触れ、後継者不足の大工という仕事に興味を持って欲しい思いから始めました。

天草の若者に一言お願いします。

皆さん天草は好きですか？帰ってきてほしいけど、天草を離れるなら離れてもいいし。逆に天草で経験を積んで出ていくのもいいんじゃないかなと思います…。昔の職人さんとかは天草で職人の弟子になって経験を積んで都会に出られて活躍している方々が結構いらっしゃるの、そういう選択もあっていいかもしれません。

(有) 原田工務店

住所 熊本県天草市佐伊津町
3137-1
TEL 0969-23-7305



人と会うのが私の仕事

原田 麻美さん サンエコライフ 天草店

サンエコライフ天草店
スタッフの原田麻美さん。

『まちの電気屋さん』としての
通常業務だけではなく、
お店のPRをSNS上で
積極的にされています。

さらに、お店を使って
『でんきやで開催する大人女子会』
なんてすごいイベントも…。

なぜ、そのような活動を
されているのでしょうか？
その熱源を確かめるため、
お話をお聞きしました。



仕事内容についてお聞かせください。

『まちの電気屋さん』として工事・商品の提案・故障したときの買い替え、修理の案内などをしています。うちのお店では『商品』ではなく『スタッフ』を売りにしています。お客さんから「あなたから商品を買いたい」とか「あなたに会いたくてお店に来た」と言われるように頑張っています。

仕事の苦勞を教えてください。

苦勞はたくさんありましたよ！若い客層を獲得するためにSNSでお店の宣伝を始めましたが、思うように成果は出ませんでした。でも、続けているとコロナ禍で携帯を使う機会が増えたことによって成果が出るようになりました。SNSを通じて商品の購入に繋がりが、工事の効率も上がりました。

成果が出なくてもSNSを続けた理由を教えてください。

私は店番の担当なのでお店の外に出ることが基本ありません。だから、私にできることはSNSだけでした。一度スタッフ総出でチラシ配りをしたことがありますが、あまり宣伝効果がなかったこともあり、SNSに力を入れて継続しました。



あまくさ未来創造スクールに参加したきっかけを教えてください。

市役所の方に誘われたことがきっかけでした。「色んな人に会えるよ」と言われて「行きます！」って言いました。私の仕事は人に会うことだと言っているのです。

スクール受講後の地域に対する考え方の変化を教えてください。

スクールを通して天草の課題が見えてきましたが、実際に活動を始めると見えてくる課題がどんどん変わっていきました。今は自社の電気屋で天草のひと・ものを紹介したいと思っています。また、現在進行している高齢化が今後ストップすることはないと思うので、ママたちが充実できて、ママたちにとって居心地のいい場所に地域がなっていっていいなと思います。



今後の天草への期待を教えてください。

若い人たちが挑戦できる天草になって欲しいと思います。例えば、私達が学生のときに賑わっていた銀天街は今やとても静かです。だから、若い人たちの力で起業に挑戦して銀天街を盛り上げてほしいと思います。銀天街が盛り上がって人通りが増えたら、いま銀天街にお店を出している年配の方がもっと元気になると思います。

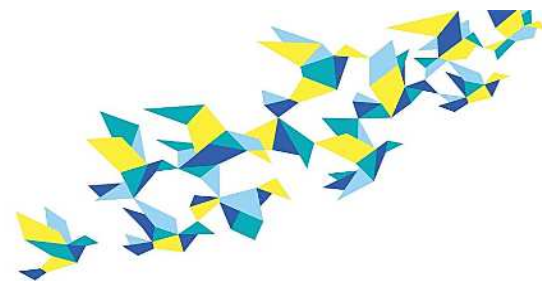
天草の若い人たちに一言お願いします。

「これは自分にはできないな」と考えるよりも先にチャレンジしてほしいです！私自身、これまでたくさん失敗を経験してきました。でも、失敗するたびにそれを基に改善していきました。そして、自分のやりたいことをやって欲しいです！自分のやりたいことだったらきつとすぐく楽しいと思います。趣味で何か始めてみるのもいいと思います。やってダメなら違うことを始めればいいと思います。

サンエコライフ 天草店

住所 | 熊本県天草市栄町25-4
TEL | 0969-22-7114





子供達の元気な笑顔を

明瀬 僚之介さん (株) ミヨセ

天草で育ち、天草外で就職。
その後、実家のお店の事業拡大の
手伝いを頼まれ、熊本大震災を
きっかけに天草にUターン。

健康に良い商品をお届けすることを
目的に、お客様から要望があれば
納得いくまで商品を調べて取り寄せる
など、常にお客様の目線に立って
接客されている「あまくさ元気村」
店長の明瀬さんに取材しました。



(株)ミヨセの事業内容について教えてください。
造園と園芸店と食品販売の3本柱で事業を行
っています。私が店長を務める食品販売の「あ
まくさ元気村」では体に優しいことを販売条件
とし、天草の商品を中心に取り揃えて販売して
います。

どのようなお客さんが多いですか？

子どものアトピーを気にして来店される方が多
いです。残留農薬など、自分には影響がなくても
子どもに影響が出てくることを心配される方も
いらっしゃいます。

明瀬さんが仕事をする上で大切にしていること、
やりがいや苦労などについて教えてください。

自社の目標が「お客様の笑顔空間、安らぎ空間
を提供」することなので、お客様に喜んでいただ
けることを大切にしています。

やりがいは、自社の関わりの中で子ども達が笑顔
になる姿を見ることです。苦労していることは、無
農薬農業を始めてまだ数年しかたっておらず、
野菜作りの中で沢山の人の力を借り、試行錯誤
していますが、なかなか結果が出ないことです。

あまくさ未来創造スクールに参加したきっかけ
と感想を教えてください。

自分はおもともと内気でそのような場に出るこ
とは無かったのですが、何か出ていくきっかけ
を作りたくて参加しました。皆さんと話し合えて
価値観などが変わりましたし、受講生の同期が

できて話し合うことができるようになったので良
かったです。

スクールに参加したことで、どういう気づきを得
て、またどのようなことをしていこうと思われま
したか？

今やっていることだけを今後もやっていければ
いいかなという思いがそれまではありましたが、
あまくさ未来創造スクールを受講して、やはりそ
うではなくて自分からいろいろと提案し、世の中
に発信していくのが大切なんだと思うになり
ました。少しずつ取り組み始めているのですが、
今後は農業体験を通じて農業や無農薬野菜の
勉強の場を作ることで、多くの人に体に優しい
商品を知ってもらい健康になっていただくき
かけを作っていければと思っています。



なぜ、そのプロジェクトを？またそれは地域に
どんな「変化」をもたらすと思いますか？

アトピーを持っていた妹が体を壊して、健康食
品に興味を持ったのがきっかけです。多くの野
菜が農薬を使って作られている中、天草には無
農薬の野菜があるんだよということを知っても
もらい、子ども達の未来のために学んでいただ
く場を自分のお店で設けたくてプロジェクトに取
り組みました。

天草の若者に一言お願いします。

社長がよく言うことですが、なにか困ったことが
あったら無理せずに天草に戻ってきてください。

(株)ミヨセ

住 所 | 熊本県天草市瀬戸町73
T E L | 0969-23-7314
定休日 | 火曜日



海と暮らす ～守る・繋ぐ～

松浦 亜希子さん (株) 天草海鮮蔵

遭遇率98%のイルカウォッチング、
とっておきの天草土産販売、
炭火焼き海鮮バーベキューが楽しめる天草海鮮蔵。
その女性店主が地域活動を精力的に行う理由を伺って来ました。



海鮮蔵について教えてください。

飲食店、イルカウォッチング、お土産販売を行っています。団体様のご予約が多く、状況に応じて休日を作っています。創業は祖母の代で、私が3代目です。祖母の時代は、天草の海産物(アワビ・ウニ・海藻)を熊本市内の飲食店に卸していました。その後、熊本市内の百貨店などで加工品を販売するようになり、天草の食材を天草外で売ることが多かったです。こうした中、天草にはイルカがいたり、海が綺麗で美味しいものが沢山あるといった魅力を、ここ天草で体感してほしいと思い、イルカウォッチングと飲食店を始めました。

仕事をする上で大切にしていることは何ですか？

やっぱりお客さんに笑顔で帰ってもらうことが一番だと思います。良い接客や美味しいものを食べてもらうというのは大前提であり、店内の雰囲気作りを大切にしています。

あまくさ未来創造スクールに参加した理由を教えてください。

私は、海が好きでこの海を守り、未来に繋げていきたいという想いがある中で、イルカの減少や



魚の食害をどうにかしたいと思ったのがきっかけです。

イルカの減少や食害は何が原因で起きているのですか？

イルカの減少理由はまだはっきりと分かりませんが、食害の原因とされているのがバリ(あいご)という魚です。五和町では、昔からわかめの養殖が盛んに行われてきましたが、近年漁業者の減少、環境変化などにより、海藻を主食とするバリが増加し、わかめの新芽が出始めたころに新芽を食べつくす食害を引き起こし、漁業者の頭を悩ませているとの話を伺いました。

バリを漁獲すればいいと考えるかもしれませんが、漁師さんからすればあまり高く売れない魚だから漁獲する価値もありません。バリは増え、食害は収まらない。イルカも住みづらい環境になっていく。そういう悪循環を断ちたいと思って、バリを資源として加工品を作って食べてもらうことにより、バリを知ってもらい、バリを獲る漁師さんが増えて食害が減ってくれたらいいなと思い、自社のオリジナル商品を作ろうと考えました。

それはどんな商品ですか？

「バリバー」といって、バリを三枚おろしにし、ミキサーにてすり潰し、塩などの調味料を加えお団子状に成形します。そして1つずつ焼いて、甘辛の醤油で香ばしく味付けをしたものです。小さ

な子どもに食べてほしい、海や魚に興味を持ってほしいという願いを込めて、串刺しにして手軽に食べられる形態を選びました。

「バリバー」を作りましたが、まだ発展の余地があると考えています。今後は、未来創造スクールに参加したことで繋がったメンバーの方たちとコラボしながら磨き上げていけたらいいなと思っています。

天草の若者に一言お願いします。

天草と一緒に盛り上げていきたいです。もっともっと、楽しい街にしましょう！



(株) 天草海鮮蔵

住 所	熊本県天草市五和町鬼池 4733-1
T E L	0969-52-7707
営業時間	9:00～18:00
定休日	不定休



天草に働き口を

野口 太志さん インテリアプラザ・ノグチ

「人生を豊かに、生活をより明るくするお手伝いを」をモットーに内装工事の仕事などをされているインテリアプラザ・ノグチの野口さん。

以前、天草本渡青年会議所の理事長を務めていた際には、天草の未来について考え、事業を企画し実施する中で地域の活性化や魅力発信に励まれ、今後は不登校の子どもをサポートする受け皿を作ることで、人材不足の建築業界に働く場所を作り雇用に繋げたいと言います。

なぜ野口さんはそのようなことを考えたのでしょうか？

インテリアプラザ・ノグチの仕事内容について詳しくお聞かせください。

室内のドアや家具を作ったり、壁や天井、床の仕上げやクロス、カーテンの工事を行っています。お客様と相談しながら室内環境を整えるためのデザインを考えています。

あまくさ未来創造スクールに参加した理由は何ですか？

天草本渡青年会議所の理事長をしているときに、天草の未来を考える中で地域の課題と仕事の課題を一緒に解決できる仕組みを学べたことだったので参加してみようと思いました。

参加しての感想、また受講後の取り組みについて教えてください。

参加者には知り合いもいましたが、半数以上の方々とは初対面でした。そんな方々との出会いは貴重で財産となりました。互いに切磋琢磨できる仲間ができたことが印象深いです。取り組みについては、不登校生を対象にインテリアマイスタースクールを開設し、建築業界で社会復帰を目指す人材育成に関するプロジェクトを考えました。まだ提案したことが実行でき

ていませんが、昨年から会社の代表に就任し、今年中に動き出したいと思っています。はじめに受け皿となる環境をつくる必要があるので、まずはそこから頑張りたいと思います。

なぜそのようなプロジェクトをやろうと思ったのですか？

身近にも不登校の子がいたことがきっかけです。学生の時期は社会で生きていくための貴重な準備期間だと思っているので、その期間を無駄に過ごして欲しくないという思いがあり、きっかけがあれば順応できるのではないかなと思いました。また、他の業種もそうだと思うのですが、建築業界は人材不足であり、募集しても人が集まらず、就職してもすぐやめてしまう現状があります。一方で、働きたいと思っているけど働けない子供たちがいて、その子たちが建築業界に興味があれば、きっかけを作ってあげることで、やりたいと思う子ども達の受け皿になればいいなと思ったからです。

今後の展望について教えてください。

天草から転出した人が戻ってこないのは、戻ってきても働き口がないからだと思っています。しかし、天草は住むにはとても良い環境だと思っているので若者のために働き口を作っていくことが大切だと思っています。

私たち天草の若者に、地域に対する思いを語っていただけますか？

自分は天草に不満を持っていましたが、一旦外に出てようやく天草の魅力に気づくことができました。特に近くに海がある環境はとても貴重だと思います。昔、東京から天草にバスで帰省してい

たときに、東京の海は茶色に近く汚かったので、天草の海はキラキラしていて濃い緑色だったのが記憶に残っています。この海を見てもしかすると天草は凄いのではないかと思いました。また、以前は刺身を食べられませんでした、東京へ行き、年齢を重ねる内に刺身が食べられるようになりました。天草に帰ってきて改めて食べてみると味の違いに驚き、「魚ってこんなに美味しいんだ」と天草の食の素晴らしさに気づきました。今天草で暮らしているうちは、その魅力に気づくことができないと思います。外に出て、戻ってきたときに天草の魅力に気づいて、天草に住むことが難しくても、他の地域で天草の魅力をPRすることできる大人になって欲しいです。



インテリアプラザ・ノグチ

住所 熊本県天草市本渡町
本渡2053-5
TEL 0969-23-9281



老舗パン屋の3代目が創る 牛深町の新しい未来

右山 秀幸さん 吉永製パン所

創業70年、牛深の老舗
ベーカリー「吉永製パン所」

昔ながらのパンと新商品を
織り交ぜ、地域の人々に
愛されているパン屋さんです。
この老舗パン屋の3代目を
務めている右山秀幸さん。

実は右山さん、ただの
パン屋さんではありません。

牛深の魅力を広め、
もっともっと観光客が訪れる
未来を創造しようとしている
地域のキーマンでもあるんです！

そんな右山さんに、仕事のこと、
牛深のまちづくりのことに
ついて聞きました。

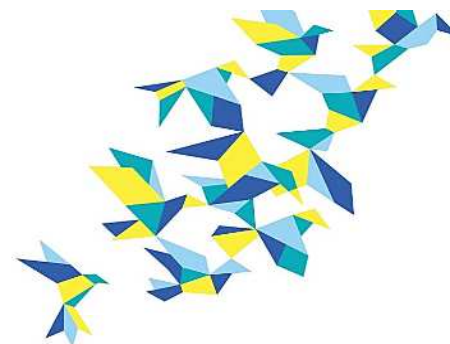


70年以上にわたり牛深のみなさんに愛されて
きたパン屋さんだと聞いています。仕事に対する
考え方、大事にしていることを教えてください。

伝統ある吉永パンを継いで「伝統的な味を守る」
ということが本当の「守る」という意味ではないと
気づき、時代に合ったお店に変化させていくため、
新しいことに挑戦する柔軟的思考を持って日々
考えて仕事に取り組むことを大事にしています。

地域のための活動もされているんですね？

牛深の観光開発をするために、観光イベントの
開催や自分の強みであるパンと天草の素材を使
ったサンドイッチやホットドックの販売と地元牛
深のハイヤ大橋と海が見られる絶景スポットとし
てベーカリーカフェの建設を進めています。観光
客向けのスペースや地元の人が話しあえる場を
提供することでコミュニケーションが生まれ、さら
なる街の活性化が図れる場所を作りたいです。



なぜパン屋でもある右山さんがそのようなこと
をしているのですか？

目的は観光客を増やすことで地域活性に繋げ
ることです。地域が活性しないとパン屋も続けら
れません。自分の事業を継続すること、地域活
性が地続きになっていると感じて、地域のため
の活動を行っています。



あまくさ未来創造スクールに参加されたのは、
やはりそうした活動をより推し進めたかったか
らですか？

参加のきっかけは、牛深の町おこしグループを
結成し、空き店舗を使って観光客向けのお店を
作りたと思っていた時に、自治体から声がか
かって参加しました。未来創造スクールを通して、
どうすれば自分の仕事によって地元が活性化
されて、地域との相乗効果を高めることができ
るのかを考えることができました。

どんな未来をつくっていきたいですか？

自分の仕事を活性化することで牛深に来る観
光客が増える、牛深が活性化することで自分の
仕事もうまくいくといった、地域にとっても企業
にとってもWin-Winの関係をベーカリーカフェ
で作りたいですし、その架け橋となつてほしいと
思っています。そこから、一企業だけでなく一人
ひとりが観光に目を向けて、たくさんの企業が
少しずつ協力していくことで、魅力あふれる牛深
を最高の観光地にしたいと考えています。

天草の若者に一言お願いします。

天草から一度出て勉強して、沢山の友達をつ
くって「天草いいところだよ」と誇れるような人
になってほしいです。そして、そのいいと思える天
草をつくるのは自分だと思って、自分が頑張るこ
とが天草のためになることを忘れずに、なんでも
挑戦してってください。

吉永製パン所

住 所	熊本県天草市牛深町1124
T E L	0969-72-3418
営業時間	7:00～19:00(売切れ次第終了) 水・日は9:00～17:00



天草にのびる！

天草ユメターン支援情報



天草は、熊本県の南西部に位置し、九州本土と橋で繋がった島です。人口は約 7.5 万人(県内 3 位)。面積は 683 km² (県内 1 位)です。主要産業は 3 つの海域に囲まれ豊富な魚種に恵まれた水産業や、温暖な気候を生かした柑橘類を中心とした農業です。また、世界文化遺産に認定された長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺

産の 1 つである崎津集落や野生のイルカを間近に見ることができるイルカウォッチングをはじめとした豊富な観光資源を活用した観光産業が盛んです。交通アクセスは陸海空とバラエティに富んでいます。特に天草エアラインは福岡空港まで 35 分で飛びます。イルカの親子をモチーフにした機体のデザインが大人気です。



天草宝島観光協会 ホームページ



住まい・暮らしの支援情報

「天草市移住・定住サポートセンター」では、自身も移住者である 3 人の移住・定住コーディネーターが、住まいや就労などの移住に関する相談にきめ細やかに対応します。現在、Web 会議ツール「ZOOM」を使ったオンライン相談も行っていますので、お気軽にご相談ください。

- 空き家等情報バンク制度
- 空き家活用事業補助金(最大 100 万円)
- お試し滞在施設あり
- 定住促進奨励金



あまくさライフ ホームページ

空き家バンク制度を利用し転入し、生活の本拠地として 3 年以上居住する意思を有する人に対して、世帯構成員が 2 人以上の場合に 20 万円分、1 人の場合に 10 万円分の天草市内で使える商品券を交付。

○移住支援金

次の条件を満たす人が天草市に転入し、熊本県が運営するマッチングサイト「ワンストップジョブサイトくまもと」に掲載された企業に就職した場合などに、2 人以上の世帯は 100 万円(18 歳未満の世帯員 1 人につき 100 万円の加算あり)、単身世帯は 60 万円を支給。

[条件] 天草市への転入直前の 10 年間で通算 5 年以上、東京 23 区に在住または東京圏に在住し東京 23 区に通動していた人(ただし直近 1 年以上は東京 23 区に在住または通動していることが必要)

お問い合わせ / 市地域政策課 ☎0969-27-6000

○スタートアップ・あまくさ

天草で起業したい方、新たな事業を立ち上げたい方向けに週 1 回無料の相談窓口を設置しております。

○起業創業資金利子補給補助金

起業される際の金融機関等からの借入金の利子を 3 年間補助(補助率 10/10、上限 40 万円/年)

○天草宝島物産公社

生産された商品の都市部への販路開拓を支援します。

お問い合わせ / 市産業政策課 ☎0969-32-6786

○ジョブカフェ・天草ランチ

県では、天草広域本部内に「ジョブカフェ・天草ランチ」を設置しております。適性診断や履歴書のアドバイスなど、就職全般に関する相談が無料できます。

熊本県の求人情報サイト



熊本県 U/I/T ターン就職支援センター



ワンストップJOB サイトくまもと

毎週月～金曜日(土日祝・年末年始を除く)10:00～17:00 ※相談は予約制です

連絡先 / ☎0969-22-4226



仕事の支援情報

暮らしの支援

お問合せ / 子育て支援課 ☎0969-27-5400

子ども医療費助成制度 0 歳から 18 歳(高校 3 年生)までの子どもが医療機関を受診した際に支払う一部負担金(高額療養費、家族療養費給付金を控除した額)を全額助成。

多子世帯子育て支援事業 国制度による 3 歳から 5 歳までの保育料無料(主食費と副食費は必要)に加え、第 1 子・2 子が 18 歳未満で第 3 子以降の場合は、保育料及び副食費は無料

児童手当特別給付 中学校修了までの児童を養育している人に支給しています。申請は、出生や転入から 15 日以内が必要。支給月額、3 歳未満が 1 万 5 千円、3 歳以上小学校修了前が 1 万円(第 3 子以降は 1 万 5 千円)、中学生が 1 万円。*児童を養育している人の所得が所得制限限度額以上の場合は特別給付として月額一律 5 千円を支給。所得上限限度額以上の場合は支給なし。

乳幼児健康診査 保護者とともに子どもの成長・発達を確認。3・4 カ月、7・8 カ月、1 歳 6 か月、3 歳 6 か月、5 歳の計 5 回乳幼児健診を実施。

子育て支援センター 経験豊かな保育士等が育児相談、育児講座、育児サークルなどを保育所、児童館等で行います。

子ども家庭総合支援拠点 安心して子育てができるように専門職(保健師、保育士、心理士)を配置して子どもや子育てなどの相談に対応。

子育て世帯訪問等支援事業 養育に課題がある家庭や妊娠中または出産後 1 年(多胎児を出産した場合は 2 年)以内の家庭などに対し、家事や育児の支援を実施。

天草までのアクセス



天草市の情報は



ここからはじまる 天草あまくさ



あとがき

似顔絵 | 田坂 來愛

大平 花奈 | 天草高校 2年

今回の活動を通して、天草の魅力やここで働く方々の熱い思いに気づくことができました。取材対象の方の考えをどうしたらうまく伝えられるのかとても悩みましたが、何とか完成させることができ良かったです。これを読んでくださった皆さんに「天草ってやっぱりいいな!」と思ってもらえたら嬉しいです。



倉田 咲来 | 天草高校 2年

今回の高校生編集社を通して、天草の良さを再確認することができました。天草で働いている方とお話する機会はなかなか無いのでとても楽しかったです。これから皆さんがもっと天草の魅力に気づいてくださったら嬉しいです。



青柳 美里 | 天草工業高校 2年

高校生編集社を通して、天草の魅力を改めて知ることができました。取材してみると、天草に住んでいても知らない事が沢山あって楽しかったです。取材して気づいた天草の魅力が、天草に住む人また天草以外に住む人に伝わればいいと思います。



田 晴花 | 天草高校 2年

高校生編集社で天草で働く人と話をし、自分が天草を良くしていこうと思え行動する事が大事ということ学びました。一度天草を出て戻って活動している方が多かったので、外に出たから知る天草の良さも聞くことができ新鮮でした。天草の魅力が沢山の人の人に伝わると嬉しいです。



竹元 紗姫 | 天草高校 2年

今回の取材では、天草でしかできないことをされている方や天草に不足している要素を補うために活動されている方に会いました。取材を通して、今までは天草には何も無いから天草を出ようと思っていたけど、天草を賑わせるために自ら行動を起こすことが大切だと感じました。



面村 卓 | 天草高校 2年

今回の活動を通して、天草の魅力は自然や食材はもちろんですが取材をしていく中で、「天草の人」に自分は特に魅力を感じることができました。これからも天草が更に人々に愛されるような場所になれるように微力ながら協力していきたいです!



松下 琳音 | 天草工業高校 2年

天草の課題に向き合い、その解決に向けて自分にできる最善のことをしている人達はとてもかっこいいと思いました。たとえ道のりが厳しくても、諦めない強い意志を持つことの大切さを学びました。



竹本 圭佑 | 天草高校 2年

この活動を通して、天草の持つポテンシャルはとても高いなと感じました。取材対象の方々がそれぞれとても面白い活動をされていて、自分たちもとてもワクワクしました!外から天草を見つめ直した時に「こんなにいいところが沢山あるんだ」と思ってくれたらありがたいです。



田坂 來愛 | 天草工業高校 2年

今回取材は、天草の課題を自分なりの方法で解決していこうとする方々へ行きました。天草で活躍される方々を見て、新しい天草の魅力を見つけられたと思います。また、私もこのように将来、地元に貢献できるような仕事をしたいなと思いました。



平野 天進 | 天草工業高校 1年

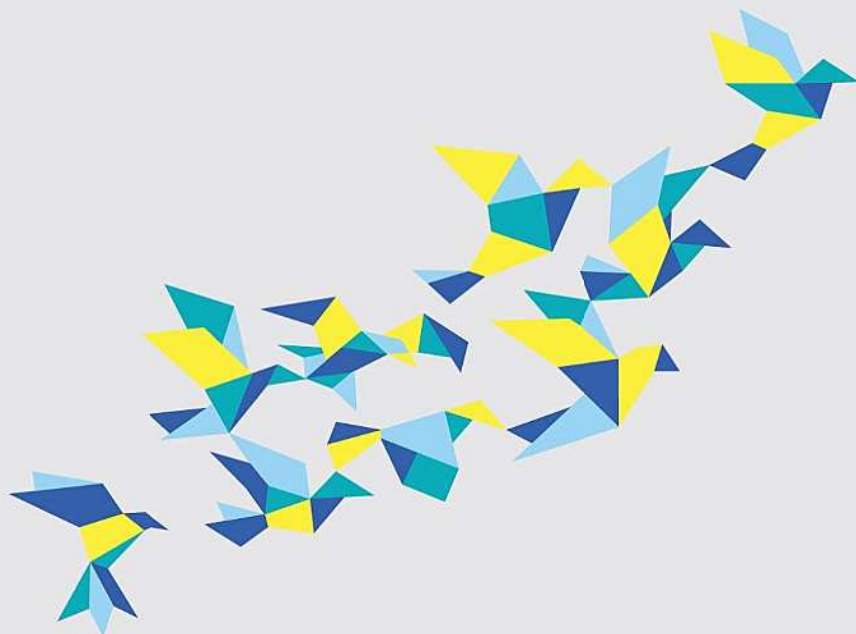
今回の活動を通して、天草の良さはもちろんのこと、天草に住んで働いておられる方々の魅力も発見することが出来ました。お話を聞く中で、天草に帰ってきたいと思ったことはもちろんのこと、天草外に出てみて、天草にはない良さを感じられたらいいなとも思える良い機会でした。



山下 蒼空 | 天草高校 2年

高校生編集社を通して、天草の魅力を知ることができました。取材してみると、天草に住んでいても知らない事が沢山あって楽しかったです。取材して気づいた天草の魅力が、天草に住む人また天草以外に住む人に伝わればいいと思います。





2023年3月

編集・制作 | 天草市・あまくさ高校生編集社